

花岡敏夫 はなおか 辯護士、法學博士。明治七年九月二十八日東京生れ、昭和十一年七月二十日歿（八五—九三）。舊姓桐原、初名金藏。號天眞生。第一高等學校を経て、明治二十四年東京帝國大學法科大學英法科卒。大學院に進み商法を専攻後、菊池武夫の事務所に入る。二十七年獨りとして辯護士開業。大正七年エストラップル（禁反言）に關する論文等により法博會推薦學位を受く。また東洋辯護士協會設立に盡瘁。第一東京辯護士會會長と務めた。

著書に「死」（花岡金藏名、明治二十年七月五日高頭忠造刊、哲學書院）、口印貿易「文藝性者青年松倉乾」二（大正七年七月五日自刊、東京堂發賣）、口最「辯論經濟事情」（松倉乾）一遺著、大正七年九月十五日自刊、東京堂發賣）、口法學「花岡敏夫遺稿論文集」（安平政吉編、昭和十二年七月二十一日巖松堂書店）等。京田千代治論「花岡先生の思ひ出」（内題「花岡先生の思ひ出」昭和十二年七月二十五日後藤重真刊）がある。

